

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		令和元年度 第6回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育推進部 社会教育課 (内線 3422)	
開 催 日 時		令和2年2月14日(金)10時00分~12時00分	
開 催 場 所		川西市役所 202会議室	
出 席 者	委 員	野崎議長、住友副議長、田中委員、米田委員、細見委員、玉邑委員 丸山委員 計7名	
	そ の 他		
	事 務 局	石田教育長、若生教育推進部長、中塚こども未来部長、 中西教育推進部副部長、山戸教育推進部副部長、岡本こども未来部副 部長、高橋人権推進部参事兼人権推進課長、大屋敷社会教育課長、田 中社会教育課主幹、藤井川西公民館長、村山中央図書館長、山中(社 会教育課主事) 計12名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数
傍聴不可・一部 不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1. 開 会 2. 前回会議録の承認 3. 報 告 事 項 (1) 各協議会の会議報告について【資料1】 (2) 生涯学習短期大学レフネック来年度開講学科について 【資料2】 (3) そ の 他 4. 議 題 令和元年度年間研究テーマのまとめについて 「公民館の役割について ~今、何が求められているのか~」 5. そ の 他	
会議結果		別紙のとおり	

審 議 経 過

NO.1

議長	<p>本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。ただ今から、令和元年度第6回川西市社会教育委員の会を開会します。はじめに、本日の委員の出欠についてですが、川口委員、塩谷委員、黒山委員が欠席です。それでは、開会にあたり、川西市教育長からご挨拶をお願いします。</p>
教育長	<p>(挨拶)</p>
議長	<p>それでは議事に入らせていただきます。次第2前回会議録の承認につきまして、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
議長	<p>説明は終わりました。ただ今のご説明について、何かご質問等はございませんか。特に、ご質問もないようなので、前回の会議録をご承認いただいたものとしたします。次に、次第3の報告事項についてです。(1)各協議会の会議報告について、ご就任いただいております協議会で前回の委員の会から今日までの間に開催された協議会がございましたら、報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
C委員	<p>第2回目の研修は楽しさの中で、川西市のことが分かる研修でした。郷土館は何度か行かせていただいています。山下町・下財町のまちについても、いろいろと知ることができました。ボランティアガイドの方からお話を聞くことができ、良かったです。とても有意義な時間でした。</p>
D委員	<p>私も郷土館の催しには、何度か参加させていただいていますが、久しぶりに説明を聞きながら見学をさせていただき、良い勉強となりました。</p>
田中委員	<p>私は生まれも育ちも川西市で、半世紀以上川西市に住んでいますが、川西市は南北に長く、特に北部については知らないことも多いので、とても勉強になりました。もっと市民の皆さんにも知っていただく機会があれば良いと感じました。</p> <p>川西市南部では、どんと祭りという大きなイベントがありますが、東谷地域のお祭りも地域性があり、素晴らしいと感じました。各地域で特性があるので他の所を見学することも大事だと思いました。</p>
玉邑委員	<p>東谷の文化祭は公民館と小学校のグラウンドで盛大に実施されていました。野菜の即売会などは参加されている方々が、喜々として実施されている様子をすばらしいと感じました。</p> <p>文化財ボランティアの方に説明をしていただきながらの街並み散策や、郷土館長の説明など、良い経験となりました。</p>

審 議 経 過

NO. 2

議長	<p>私も1日寄せていただいて、本当に多彩な文化性があると思いました。一番びっくりしたのは産業遺産が川西市にあったことです。初めて知りました。ガイドの方にご説明いただかないと普通に通り過ぎてしまうところでした。研修会に参加し、地域資源と、それをつなぐ人材は大事だと思った1日となりました。</p> <p>他の地区の皆さんも非常に勉強になったとおっしゃっていたので、有意義な研修会だったと思います。それでは、他の協議会につきまして、委員の皆様方で、前回の会議以降、参加された会がありましたら報告をお願いします。</p>
C委員	<p>先日、川西市青少年センターの運営委員会がありました。運営委員会は年2回、年度初めと終わりにあり、今回は2回目の会議となりました。</p> <p>皆様ご存じの通り、青少年を取り巻く環境はどんどん変わってきています。昔は補導委員の活動というパトロールを実施し、街中でたむろしている子ども達に注意をするという活動が多かったのですが、今は夜に行っても昼に行っても、子ども達が集団で集まっている姿は見なくなりました。いまは、SNS上でのやりとりなど、目に見えないかたちで繋がっています。</p> <p>私自身がパトロールを実施してきた経験の中で考えるのは、パトロールの形を変えていかなければいけないということです。SNS上でのやり取りの部分に目を向けていかなければいけません。いつの時代も子ども達の健全な育成を願う気持ちというのは同じですが、時代の流れや価値観の多様化などの変化に対応し、いま青少年にとって大切な環境をしっかりと見極め家庭、地域、学校関係機関が手を取り合い、環境を整えていくことが大切です。</p> <p>今後も地域の子供達は地域で守り、育てるという体制を整え、積み重ねてきた取組を、着実に進めていきたいと思っています。</p> <p>会議の最後に、時代が変わっていく中で補助金についても、令和2年度中に見直しを行い13年度にその内容を反映していきたいとおっしゃっていました。市長が掲げておられるゼロベースですが、今までの枠組みというものを全く変えてしまうのではなく、子どもの安全のために、何ができるかということを考え、見直していただきたいと思います。</p> <p>私自身、20年近く青少年関係のことに携わり、いろいろな思いがあります。時代の流れなので、変えていかなければならないという気持ちは変わりませんが、委員の中の声も反映しながら見直しを進めていただきたいと、切に思います。</p> <p>また、PTAのあり方についても見直す状況があります。今までのように、PTAから何名という選出ができない状況もあります。運営をスリム化していかなければならないことは分かりますが、いろいろな部分で大切なものをきちんと見極め、見直しをしていただきたいなと感じています。</p>
議長	<p>今、お話が出ましたPTAについて、第4回の会議がありましたので、報告します。今年度は4回実施しました。来年度も、4回実施の予定と確認しています。今ちょうど中間地点まで来ているという状況です。会の進捗としては、そ</p>

	<p>もそもPTAとは何かということ、PTAを取り巻く環境、学校の先生方の働き方改革の状況などについて話し合いました。</p> <p>ここ最近で1番変化しているのが保護者の状況です。幼稚園でいうと幼児教育の無償化の開始や、保育所への潜在需要の高まりなどの変化がみられています。保育所の需要が高まると、幼稚園の入園者は少なくなっていきます。となると、幼稚園のPTAが縮小することから始まり、当然保護者の数が減っていきます。</p> <p>つまり、PTAの人数が減っていく状況にあるなかで、業務のスリム化を図る必要があるわけです。PTAとして行うべき業務と、そうではない業務をもう一度整理し、子ども達のためにどういう組織があるべきか議論しています。</p> <p>休日に開催していますが、毎回傍聴の方が3、40名くらいいられています。今の状況をなんとかしないといけないという思いと、PTAは大事という思いがベースとしてあります。そうした中で、これからの時代のPTAのあり方をみんなで考えていこうという議論の場が広がっていると思います。</p> <p>学校も校長会でPTAのお話があり、どうしていくかについて、連携して考えています。PTAだけに任せきりにするのではなく、学校も一緒に考えていこうという流れができてきたという印象を受けています。来年も継続する事業ですが、PTAモデルを提示できればいいなと思っています。学校の先生としてのご意見はいかがでしょうか。</p>
<p>H委員</p>	<p>昨日、本校PTA総務役員会がありました。既に参加の加入届を取っているところもありますが、本校も来年度末には加入届を集める予定です。いろいろな話をしたにも関わらず、PTAの加入者は半分ぐらいという学校もあり、非常に不安があります。</p> <p>本校の場合は、2学期の始めに全保護者へアンケートを取り、総務の方が意見集約を行い、1月に入ってから集計結果が配られました。結果としては、相当スリム化しています。</p> <p>学校主催で出来ることは学校でやるということです。地域の方へもそういう動きがあることを説明し、地域からの依頼も縮小していくということで動いておられます。これでどうでしょうかという試しを来年1年実施する予定です。</p> <p>PTA役員に立候補した方も1人おられましたが、新しい総務の方も結局、くじで決まっているという状況にあるため、新総務の方はとても不安を持っておられます。加入届を取った時にみんながPTAに入ってくれるのか、入らなかったらどうしようという状況です。ただ、やはり子ども達のためとか、子ども達が通う学校を支えていくという本来のPTAのあり方に戻り、自分達ができることを、できるだけという気持ちで、一緒にやっていたらと考えています。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。やはり学校とPTAだけではなく、地域としてどう学校もしくは子ども達を支えるかということも私達、社会教育委員の会の大きな検討課題だと思います。それでは報告事項(2)生涯学習短期大学レフ</p>

審 議 経 過

NO.4

	<p>ネック来年度開講学科についてに移らせていただきます。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(説 明)</p>
議長	<p>ありがとうございました。事務局からの報告について、質問等ありますか。</p>
G委員	<p>生涯学習短期大学は、歴史を重ねられて実施されています。配付いただいた資料を拝見させていただくと、私自身も受けてみたいと思うような講座がありバラエティに富んだ講座を設定されていると思います。</p> <p>公民館に勤務していた頃は、公民館講座を組む際、できるだけ変化のある講座を実施しようと思っていましたが、なかなか難しいですね。レフネックにおいては実施期間が長いこともあり、ご苦労があったと思いますが、素晴らしい講座になると思いました。</p>
議長	<p>生涯学習短期大学は川西市の看板になる素晴らしい事業だと思います。事務局については今、意見もありましたようにご苦労があったと思いますが、また来年度もいい形で実施できればと思います。それでは(3)その他について、何かご意見ありますか。</p> <p>なければ(4)議題に進みます。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(説 明)</p>
議長	<p>事務局から説明がありました。細かいところも含め、この後の協議の中で気になるところについて、ご意見をいただきたいと思います。</p>
A委員	<p>これは市民がホームページ等で目にすることができますか。市民目線、役所目線どちらで作成しますか。</p>
議長	<p>社会教育委員として立場の提言を協議報告という形で示すこととなります。</p>
C委員	<p>この資料を多くの方に見ていただきたいと感じました。ホームページだけにしてしまうと、そんなに広まらないのではないのでしょうか。</p>
D委員	<p>これまでの会議録や提言もホームページで公開されています。</p>
C委員	<p>ホームページより、もっと気軽に見ることができないのでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的に提供依頼があれば、個々にお渡しします。</p>
C委員	<p>公民館に設置するなど、どうでしょうか。</p>

審 議 経 過

NO.5

A委員	<p>市民目線とこだわったのは、全体的に役所言葉みたいなものが入っているので、そのあたりについて欄外に注釈がいるのではと思いました。例えでいうと、首長部局という表現ですね。これは役所言葉ですので、市民の方が読まれた時に単語の意味がすぐに分からなければ、注釈を入れる必要があると思いました。ただ、注釈を入れることによって、全体のスマートさが無くなるのではという危惧もあり、どちらが良いか迷いながら、読みました。</p>
議長	<p>この報告書のスタンスとして、当然市民の皆さんへ読んでいただきたいという想いはありますが、基本的には委員の会議としての協議をまとめ、教育委員会への提言として協議報告をするということになります。教育委員は市民の代表ですので、最終的には、市民の存在があるというところは忘れてはいけないことですから、A委員がおっしゃったようにできるだけ市民目線で作成するというもおさえる必要があります。</p>
A委員	<p>では、2、3点気が付いたことを申し上げます。「てにをは」に関することで言えば、はじめにの1-1の1行目、多くの方はなんと答えられるでしょうか。「ので」が必要だと思います。先ほどの市民目線ということであれば、例えば右下の吹き出しの、公民館はどんな取組をしているの?という言葉については「取組」ではなく、「取り組み」のように、平仮名があった方がいいと思います。学校は、こういう言葉使いには気をつけていまして、あまり漢字だけの言葉で終わらないようにしています。それと怒られるかもしれませんが、各ページのデザインにされている英語はいいですか。見た目はいいと思いますが、英単語だけでは、浮いている印象もあります。</p>
議長	<p>オシャレですが、ポピュラーではないため、目立つのかもしれませんがね。スタッフとかいうレベルは分かりやすいですが、他の単語を理解するのに、英検2級ぐらいはいるのではないかと思います。</p>
A委員	<p>それから、同じようなレベルでしかお話できないのですが、文章左から右にずっと読んでるので、2-2昨今の公民館を取り巻く環境の1番下の吹き出しの読み順が右から左になっている点は、逆の方がいいと思います。</p> <p>また、まんだらチャートの図ですが、真ん中の網掛と周りに散った網掛の部分との関連が分かりづらいと思いました。我々はこの図でいろいろと話したので、図の仕組みを理解していますが、文章化してしまうとそのプロセスが分かりにくいような気がします。図の見方みたいなものを分かっていたかための工夫が必要だと思いました。</p>
B委員	<p>14ページ、提言4のところの1番下に紙媒体の充実というのがあります。後半も読んでいくと理解できますが、始めに出してしまうと理解が難しいような気がします。</p> <p>今、私がお仕事をさせていただいているプレイルームには、いろいろな所か</p>

	<p>らチラシが送られてきますが、毎月残部が出て、処分することが多いです。市全体でチラシの枚数を考えないと、資源の無駄になっていると思います。</p> <p>後半を読んでいくと、紙媒体の内容の充実だと理解できたので、内容の充実といった表現の方が良いと思いました。</p> <p>また16ページの最初のところ、1番最初の「公民館に行ってみようと思うしかけづくりが大切です。」という文章についてですが、ひらがなが続くので、少し見にくいように感じます。見やすいようにカッコなどを付けると、読みやすいと感じました。</p> <p>他のページもひらがなが多いので、区切る、コンマをつけるなど読んでいる人が、ポイントを理解しやすい工夫があれば良いと感じました。</p> <p>「そのためのしかけづくり」の行についても、ひらがなが続いているので修正をお願いします。</p> <p>1番下のカフェの設置というところですが、川西南中学校の図書ボランティアの中で、久代コミュニティのカフェに参入したいという意見が挙がっています。大人のための読み聞かせを行うことでカフェを盛り上げられないか考えている最中です。</p> <p>読み聞かせというと、子どものためというのがほとんどですが、たかが絵本されど絵本ということで、大人が読んでも心に響く本があったりします。介護施設に行って読み聞かせをされていることなどもありますし、カフェに集まってこられた方に向けてできたらいいなという意見が挙がっています。</p> <p>また、18ページの提言の2つ目に「評価しなくてもいい子どもの社会教育」という文章があります。この文章、とても良いことだと思いました。大人の社会でも評価とか批判とかすることが無い社会ができれば良いとこの文章を読んで感じました。</p> <p>20ページに「アイディアがあれば追加」とあるので、講座を提案します。講座で学ぶことで、簡単に資格が取れる講座があればいいと思いました。例えば自分が実施していることを紹介させていただくと、お話を聞く力を付ける「聞き方検定」というものを行っています。聞き方検定は仕事、パートに行く時の履歴書にも書ける検定です。履歴書に書き、難関のパートに就職できたという方もいらっしゃいます。今、どこの自治体でも保育士さんが不足している状況があります。保育士免許は簡単には取得できませんが、保育士の方々をサポートする子育て支援の資格などを公民館などで取得できるといいのではないかと考えます。</p>
議長	<p>資格講座について民間団体が実施する場合は、営利団体として認証されてしまうと公民館は使えません。</p>
事務局	<p>議長がおっしゃる通り、営利目的、宗教関係、政治関係のことで公民館を使うことはできません。</p>
議長	<p>ライセンスを取るために講座を開講しようとした場合は、貸し館扱いにする</p>

審 議 経 過

NO.7

	<p>と使えますか。</p>
事務局	<p>確認が必要ですが、コミュニティセンターとしての利用であれば、できるかもしれません。社会教育法の関係から、公民館としては使えないことになっています。</p>
G委員	<p>講師の方が生徒を募集し、実施するような講座は営利にあたるため、お断りするということですね。学習者自身が特定の資格を取りたいので、講師を招いて勉強をしたいということであれば、営利ではないと思います。やり方にもよるのではないのでしょうか。</p>
B委員	<p>よくプレイルームにも資格取得などの、講座案内に関するチラシやお知らせが来ていたと思うのですが。</p>
G委員	<p>公民館は貸館の料金が安いので、よく部屋を貸してほしいというお話があります。公民館の職員は、それが営利目的に当たるのか、そうではなく、みんなで勉強がしたいから講師を招いて勉強会をするのか、判断することが必要となります。営業行為と判断したものについては、お断りしています。</p>
事務局	<p>今、B委員がおっしゃられた話は子育て支援の専門員の研修のお話だと思います。確かに、地元で研修を受けることができ、資格も取得できることがそのまま職にも繋がるということは、非常に良いご意見だと思います。実際、公民館での講座が実施できるのかどうかについては、今後研究していきたいと思います。</p>
B委員	<p>神戸市まで行かないといけないうのは、遠いという理由から躊躇される方も多いと思います。今後、子育てを経験した保護者の方々が資格を取得されれば、子どもの扱いは慣れていると思いますので、保育所で職員が不足しているところの手助けをしていただければいいかと思います。現実的に公民館などの身近な施設で資格を取得することができるようになればいいと思います。</p>
議長	<p>資格も国や県が認証するものから、ローカルライセンスまでいろいろな種類があります。県が実施するような研修会等であれば、公民館施設を使えるのではないかと思います。わらべ歌や手遊びのグループが何らかのライセンスを作って講座を実施するというのは、公民館の貸館としては難しいような気がします。公民館以外の貸し館で実施するというのも、方法かもしれません。他はいかがでしょうか。</p>
D委員	<p>最初に話がありましたが、できるだけ市民の方に分かりやすい文章にした方がよいのではないかと思います。</p>

議長	<p>ありがとうございます。他いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>20ページの「退職後の男性に向けた『これから』を考える座談会」ですが、男性に限らない方がいいと思います。今、社会進出されている女性の方も含めた退職後を考えるような講座にはいかがでしょうか。女性の方が長寿ですし、男女両方必要があると思いました。</p> <p>また、同じページの提言の4つ目ですが、公民館で生まれる人と人との繋がりは大きなテーマの1つだと思いますが、提案しているような、受付事務や机のセッティングなどの講座運営を参加者へ依頼し、学習者主体の講座運営の実施を進めるというのは、少し意味が違うのではないかと思います。繋がりを作るための講座をするために、受付や机セッティングをして、繋がりをつくるのではなく、積極的に人と人を繋げていけるような講座の企画を考える方がいいと思います。</p> <p>例えば、「川西市のいいところ見つけ隊」みたいな講座を組み、川西市の食、文化などの良いところを見つけるという講座を5回ぐらいの連続講座で予定し、来てくださった方々をグループに分け、市内を巡っていただくなどの講座を実施してはどうでしょうか。そういう講座を4~5回続けていき、その講座参加者の中で人々の繋がりを作り出すというづくりが大切だと思います。つまり、夢中になれる物を中心に持ってきて、それをみんなで追及していく過程で、繋がっていけるような仕組みが講座でできればいいと考えます。つまり、何が言いたいかという、講座のセッティング等の問題ではなく、講座の内容で人と人を繋げることを考えることが必要ではないかということです。以上です。</p>
議長	<p>講座の運営方法の見直しについては、講座を運営する運営委員の仕組み作りについて、その方々が講師をお迎えするという想定だと思います。実施に至るまでの課題も多いと思いますので、できたらいいなという考えでもいいと思います。事務局に伺いますが、レフネックの事業において講座運営に対し、一般の学生さんが関わられるような仕組みとか仕掛けなど、工夫されていることはありますか。</p>
事務局	<p>レフネックは1学科、定員100名で募集をしています。100人のうち、10人を1グループという形で班編成しています。その中で毎週当番を決め、講座30分前に来ていただき、各生徒の名札の配付や受付の準備を手伝っていただいています。</p>
議長	<p>ありがとうございます。レフネックは次年度の運営について、アンケートを取られていますが、その組織が運営について話し合うというものではないのですか。</p>
事務局	<p>アンケートでは、開催学科の希望や実際受講された講座について意見をいただいています。現時点では、運営面の内容までは確認できていない状況です。</p>

議長	<p>次年度、アンケートを取る際には、学習者自身ができることに関する項目など別の視点からも入れてみてもおもしろいと思いました。参考にさせていただきます。</p> <p>ありがとうございます。他、ご意見いかがでしょうか。</p>
G委員	<p>今回の報告書ですが、現在の社会情勢や公民館を取り巻く環境などの外的環境要因、公民館の現状として、財政面や人の配置などの流れを記載したうえで社会教育委員の会からの提案があるというつくりになっています。イラストや写真の工夫などもあり、読みやすく理解しやすい報告書になっていると思います。</p> <p>7ページの予算関係や8ページの人の関係について、年度毎の記載内容を見ると、公民館運営事業の予算が毎年減らされていることがよく分かります。また、人の関係では、正職員が少なく、ほとんど臨時職員にお世話になっているという現状も見えており、現場にいた時に一番苦労を感じたところがしっかり記載されています。</p> <p>2番目として「子どもの居場所づくり」として「部活動に代わる活動機会の提供」「不登校の子ども達の居場所づくり」「フリースペースの提供」などが記載されています。この方向性は非常に大事だと思いますが、現場の公民館の施設のつくりは館によって違いますし、また人の配置状況も違う状況です。これはあくまでも目指すべき方向だと思いますが、いまの公民館の状況で実施していくことは、なかなか大変なことだと思います。</p> <p>講座や貸し館の中で子どもを対象とした講座を増やすというのは公民館が主体となることができるのですが、フロアを開放し、子ども達が走り回る状況になると、貸し館の方に迷惑をかける、行政センターを目的に来られる方にも影響が出るなどの課題があると思います。子ども達のためにしてあげたいと考えても難しい気がします。部屋の中で実施するというなら、また話は別ですが、子どもの居場所づくりを公民館主体として実施することは、今の体制では難しいように感じます。子ども達の居場所をつくるのであれば、B委員のような指導者の方がおられて、子ども達をみていただけることが必要です。</p> <p>また、16ページの1番下に記載されている個人事業者に場所を提供することについてですが、営利目的の利用にあたるかどうかについて気になりました。地域の振興のために使うのであって、個人業者に貸すわけではないという位置付けとするのであれば、問題は無いとも思いますが、その位置付けが気になります。</p> <p>それから、先ほどの人と人との繋がりの部分についてですが、学習するためには、インターネットやユーチューブ、NHKの講座など、いろいろなツールがあります。私は歴史が好きなので、勉強したいという想いがありますが、テレビの高校講座などわりと分かりやすいです。</p> <p>公民館講座で学ぶことと、行かずに個人で勉強されることの何が違うかというと、人と人の触れ合いがあるかどうかです。家の中で勉強するだけでは、触</p>

	<p>れ合いはありません。公民館に行って講座を聞いたり、登録グループの仲間に入って活動したりすることで一番大切なことは、そこで人と話をして、今どんなことが話題になっているかの情報を仕入れることです。それは家ではできません。ただ、そういうメリットがあるので、公民館に来なさいと言っても、そこは個人の好みがあるので、行きたい人が行けばいいと思います。ですから、公民館としてはそういう考えのもと、貸し館を実施する、講座を設定することが大事だと思います。</p> <p>レフネックや県の生涯学習施設は、1、2年単位の長期講座を実施されています。私の友人も通っていたので聞いたのですが、通う中でクラブ活動や仲間内の会ができ、社会見学やゴルフに行きましょうとかいうイベントに繋がるようです。公民館の講座の多くは単発講座ですから、また違うような気がします。</p> <p>あまり地域内での強い関わりを希望されない方もおられることも踏まえると、地域密着型の公民館とレフネックのような市全域を包括している事業との役割分担が必要だと思います。講座へ行った先に、また地域とは違った人間関係ができあがることも大切だと思います。</p>
議長	<p>あまり地域内での強い関わりを希望されない方もおられることも踏まえると、地域密着型の公民館とレフネックのような市全域を包括している事業との役割分担が必要だと思います。講座へ行った先に、また地域とは違った人間関係ができあがることも大切だと思います。</p>
G委員	<p>提言とはちょっと離れますが、生涯学習の大切さをもっと地域住民の方に積極的にPRすべきだと思います。社会教育は学校教育と違い、進学などに一切関係なく、本当に自分がやりたいこと、自分が好きなことをやっていく学びです。それはスポーツにしても音楽にしても文学にしても、いろいろあります。その中で自分の好きなことを見つけ、継続して学んでいく。だから、生涯学習は素晴らしいということを、公民館はどんどん発信していくことが大切で、また公民館に来ていただくということに役立つと思います。理想論かもしれませんが、そんな思いがあります。</p>
議長	<p>以前、県の事業の中で「学ぶこととは何か」という議論がありました。学ぶことは生きること、生きことをやめるということは、学ぶことやめることというのが私の中での1つの気づきでした。A委員から退職した後の男性というお話がありましたが、やっぱりそうかなと思いました。やはり、地域デビューしていない男性が多いということがポイントだと思います。多くのお母さんは他の地域から嫁いで来られるので、男性より地域に馴染みのない方が多いですが、女性は子育てやPTAから地域デビューへ入るというきっかけがあります。</p> <p>男性はお仕事をしていると地域とのつながりが持ちにくい状況にあります。そういう方に向け、公民館は地域と繋がるツールの1つになります。今、G委員がおっしゃっていましたが、公民館は学ぶというところから入る地域への入口です。レフネックでの学びは広域性の勉強の場であり、公民館の勉強は地域に繋がる学び地域の人と学び合う、関係できるっていうところで役割分担をしていると思います。</p>

審 議 経 過

NO. 11

事務局	<p>ご指摘いただいた内容について、事務局から補足説明いたします。確かに法人登録をされている個人事業者の方が、公民館で事業を実施しようとする場合は営利目的となるため、公民館の使用はできません。ただ、また事業として立ち上げを行っていない個人が事業を行う際は、協議する余地があるため、報告書に挙がっていると認識しています。例えば、第2回の研修会の際に、東谷公民館の文化祭を見学していただきましたが、2階でカフェのような取組をされていた市民の方がおられたかと思えます。報告書にて記載のイメージとして、参考になればと思います。</p> <p>あわせて20ページに記載の講座の運営方法についてですが、最近、事務局の方でも公民館講座に行かせていただき、公民館講座の終了から全員が退出するまでの時間を計った結果、講座が終わってから、おおよそ10分程度で全員が退席されている状況であると確認しました。地域づくりにも繋がる公民館講座としては、公民館講座に来た後にも交流があり、学びとともに、地域の人と人を繋げることができることが理想的だと思っていますが、現状は受講生の皆さんの交流なく、帰ってしまうという状況にあります。</p> <p>この状況を変えていく手段として、報告書には、運営方法の工夫を記載しています。ただ、レフネック等で行っている運営委員会の方法は、公民館の単発講座では難しいと感じていますので、多田公民館で実施されているような3から4回の連続講座での検討を提案します。</p> <p>また、社会教育委員の皆さんが全国大会にて実際に経験されたワークショップ型の講座として、講師の話を聞いて終わるのではなく、それに対して自分はどう思ったのか相互に意見交換していただくことで、より深いまなびに繋がる講座づくりについても、今後検討していただきたいという意図だと理解しています。</p>
議長	<p>それでは協議のほうを進めてまいります。H委員、学校のほうに関する意見はいかがですか。</p>
H委員	<p>読んでいて、すごく時間をかけて作られたのではないかと感じました。私に関係あるところといえば、やはり提言2の子どもの居場所づくりだと思います。今まで何回か言っていますが、子ども達が公民館に行く時間というのは、やはり学校がある以上、放課後ですね。私も明峰公民館に伺った時、小学生は図書室とかロビーで勉強しているという印象をもっています。中学生は部活動等で忙しいので公民館へは行けない状況ですが、中学生も夏休み期間など公民館で学べていければいいなと思います。資料の中に部活動支援の項目も大切だと思います。</p> <p>ただ、公民館職員の方も今の状況を維持することに、手一杯というのがあると思うので、協力していただける人材の確保が大切だと思います。学生や高齢者の方でボランティアとして協力してくださる方もおられると思います。実際、学校現場にも学生ボランティアの子が大学の単位を取得するために、お手伝いできることないですかと来てくれることがあります。</p> <p>いま、教員のなり手がどんどん減っている状況があるので、ボランティアで</p>

	<p>来てくれた若者に子どもとふれ合える場を作っていく必要があると思います。例えば市の方でボランティアの方を集約していただき、公民館にも紹介していただけるという仕組みがあれば、部活動支援などもできるのではないかと思います。具体的に子どもが行ける場所をどうやって作っていくかというところですね。手間と時間がかかると思いますが、できればいいなと思いました。</p> <p>もし、子ども向け公民館講座がありましたら、チラシなどをいただければ学校に掲示し、子ども達にPRするといった連携もできます。公民館、学校、行政の連携が必要だと感じました。</p>
議長	<p>他は、いかがでしょうか。</p>
B委員	<p>子ども関係の3番目の文章について「0歳児とその保護者を対象としたくるみも実施」と記載されています。これは、0歳児交流会くるみという事業ですが、この文章で0歳児と保護者の方を対象にしている交流会だと分かりますか。</p>
C委員	<p>上の文章の流れからそうかなと推測できると思いました。</p>
B委員	<p>「0歳児交流会くるみ」という表現だともっと分かりやすいのではないかと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。一通りご意見いただきました。本日ご意見いただいた細かい部分は、最後に調整することとし、最後の文章「結びに変えて」というところについて、少し議論の時間を取らせていただこうかと思います。これが2年間の結になりますが、この箇所でご意見いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>箇条書きの4つ目の2行目に、「悪いことはできない」という表現があります。</p>
議長	<p>私が議論の中で発言した言葉ですね。顔の見える付き合いという意味で発言しました。</p>
A委員	<p>その方向ですね。</p>
議長	<p>その次の文章に少し気になる箇所があります。「その関係性を築く場所として、今後も公民館での学習支援を進めるとともに地域づくり支援を目指し、運営していただくことを期待します。」という文章が1つポイントとしてあると思います。表現、内容を含めてご意見ございますか。</p>
G委員	<p>学習支援という言葉がちょっと固い印象を受けました。</p>
議長	<p>学習支援、地域づくり支援の言葉を並べていますが、ここはどうですか。</p>

<p>D委員</p>	<p>何十年前から川西市もコミュニティ作りという動きがありますが、地域でのコミュニティって本当にできているかと考える時があります。市はコミュニティがあるので、今言っているような地域づくりができていると思われているような気がします。コミュニティの立ち上げから20年前以上、コミュニティに関わらせていただいていることは、本当にコミュニティ作りができているかは疑問ということです。</p> <p>この辺について、公民館での学習などを活用し、人との繋がりを作らなければいけないと思います。そういう意味で学習から地域づくりをするという、この文章は非常に良いと思いました。もっと、強調したいと思ったくらいです。地域のごく一部だけが地域活動をしているというところが、ここ近年増えていると思います。地域みんなが座談会など、話し合う場を持とうという気になれないという事情もあると思います。ここは大切なことだと強調する必要があると思いました。</p>
<p>議長</p>	<p>D委員に質問です。下から3つ目の項目のところで、今何が求められているのか。その答えとして、「地域を繋げる教育」と表現している点については、ご意見いかがですか。実際、65才くらいの方に地域づくりを進めていただきたいと考えても、その層は薄いという話です。要は地域活動を担える方の高齢化があり、若いシニア層の参入がないという状況を変えるきっかけを公民館でつくれたら、という考えが背景にあると思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>よく地域の人材育成と言われます。いま言われたように70才までは皆さん仕事に行かれ、それ以降、地域におられる状況があります。仕事を終えられた方に、急に地域での活動やボランティアをお願いすることは難しいということから、人材不足に繋がっている面もあると思います。ですから、地域に繋げる教育というのは、教育を含めた人と人との繋がりを作っておくことで、地域の人材育成に繋がるということです。</p>
<p>議長</p>	<p>人と人を繋ぐのですね。</p>
<p>D委員</p>	<p>そうです。</p>
<p>議長</p>	<p>組織という意味ではないということですか。</p>
<p>D委員</p>	<p>組織ではないです。</p>
<p>議長</p>	<p>人と人、人と組織、組織と組織、人と地域、組織と地域の繋がりが大切だと思います。PTAもその1つだと思います。他いかがでしょうか</p>
<p>C委員</p>	<p>私もまとめ方として悪いことだけがひっかかっただけで、あとはそんなにひっかかることなく、全体結びにかえては、特に異論がありませんでした。</p>

審 議 経 過

NO. 14

議長	地域を繋げる教育ということですかね。
C委員	変更してしまうと、全ての文章に広がってしまうので、細かく分けると分かりにくくなるような気がします。結局は、人と人です。
H委員	最後の文章の「悪いことができない」はカットしてもいいのではないのでしょうか。
事務局	議長、申し訳ないですが別の公務のため、ここで退席させていただきますので最後に一言だけ、失礼します。議長からご指摘いただいた地域を繋げる教育というのは、私も非常に興味を持っています。先ほども言いましたが、各学校へ学校運営協議会を設置することで、学校づくりに地域の方が参画されるという動きがあります。川西市は非常にコミュニティが強いので、コミュニティという組織の事を意識しますが、コミュニティ・スクールは単位としてではなく、人と人の繋がりのところ全般を指していると考えられます。学校側はどうしてもコミュニティ・スクールという時に、学校にとって地域が何をしてくれるかということに目が動くのですが、今は、地域にとって学校は何ができるかということを見ていかないと、学校そのものの意味が無くなってくだろうと言われています。そういう意味で、コミュニティ・スクールという言葉を一ひっくり返したスクール・コミュニティという言葉もあります。学校を媒体とした地域の繋がりというラーニングコミュニティです。これからは、ここで表現されている、学びによって人々を結び付けているという考え方が求められていくのではないかと思います。先ほど議長がおっしゃっていました「人は学びによって生きている」ということでいうと、人が生きていく間に学び続けるその繋がりがコミュニティの中で、1つのコミュニティとなるという考え方だと思えます。そういう意味で提言いただいているということかと思えます。非常にありがたいと思っています。そのことだけお伝えさせていただいて、退席させていただきます。
議長	ありがとうございました。今、教育長にお言葉いただきましたが、他はいかがでしょうか。
B委員	教育長が言われたことも本当に素晴らしいですし、これからもそうありたいなと思いました。
議長	他は、いかがでしょうか。
C委員	「学びによって生きている」という言葉をどこかにいれましょう。全てがそれに繋がっていると感じます。
議長	2年間このメンバーで議論してまいりました。全体提言も含めて、委員の皆様から最後のお言葉をいただきたいと思えます。H委員からお願いします。

審 議 経 過

NO. 15

H委員	<p>前もお話ししましたが、学校現場は本当に忙しく、余裕が無い状況です。ただ、この立場となつてからは、地域の方と話す中で繋がりができ、本当にいろいろな方が地域のためにがんばっておられている状況だということを知りました。我々の役目としては地域の方と出会い、いろいろと学ばせていただいたことを職員に返し、繋がりを作っていくこと大切だと思います。いま、学校運営協議会はモデル校だけで実施していますが、いずれはどの学校でも実施していかないといけないものだと思います。ただ、PTAと一緒に忙しくなりすぎて、結局余裕が無く、何をやっているか分からない状況になることがないように、本当にできることをできるだけやるという形で良いと思います。子ども達のためになることを、いかに知恵を出し合つて実施していくかということが大事だということを伝えていきたいと思います。2年間ありがとうございました。</p>
D委員	<p>社会教育委員として、いろいろと勉強させていただきました。今言われたように、昨日、多田地域の学校運営協議会がありました。教育長も言われましたが、我々の時代といまの時代の学校は大きく変わってきています。私達の時代の先生というものは、先生という存在が強く、悪いことすれば校長室の前で立たされるようなイメージでしたが、今は全然違います。</p> <p>子ども達への教え方についても、子ども達の興味・関心に触れる方法で教えないといけないという話になっています。10、20年経ったときに役に立てることができるように勉強する方法が大事だと言われます。</p> <p>この場でも学校運営協議会でも、ビジョンをしっかり持つこと、お互いが助け合いながら今やっていることを軽減し、本来やらなければならないことをやるのが大切と言われています。教育全体がそういう方向に向かなければいけないという状況を理解したうえで、地域としての関わりを持たないといけないと思っています。やはり地域も、もう少し物の見方を変えていくことが大事だと思いました。以上です。ありがとうございました。</p>
B委員	<p>最後のページに委員の名簿が記載されていますが、平成22年から社会教育委員としてお世話になり、10年にもなるとびっくりしています。ここで学ばせていただくことで吸収できることも多く、良い機会をいただいたと感謝しています。この2年間を振り返ると、全国大会が本当に良い経験になったと感じています。社会教育ってこういうことなのかなというのが、10年目にしてやっと分かったような気がしています。これから、社会教育委員として教わったことを私が繋がっている方々に、返していけたら良いなと思っています。</p> <p>私と繋がっている方というと、子育て中のお母さんや、中学生などの若者と関わるのが特に多いのですが、先ほど3名の方がおっしゃられた「子ども達が見たいことを学ぶ」ということについて、大切にしたいと思っています。</p> <p>今の子ども達は本当に、与えられて育ってきているので、自分で何がしたいというのが、あまり分からないというか、出せない子が多いので、自分はどうかしたいかという気持ちを、私はこれからもっともっと聞いていってあげたいと考えています。今後、教育も大きく変わっていくと思いますが、子ども達が自</p>

G委員	<p>分自身と向き合える環境を作っていくための努力をしていきたいと思っています。10年間お世話になりました。ありがとうございました。</p> <p>2年間、ありがとうございました。私が社会教育委員に呼ばれたのは、行政や公民館業務での経験を発言してもらいたいという意図で、選ばれたと思っております。2年間の任期の中で、現場の状況や現場の声をお伝えできたらと思います。いろいろ発言させていただきましたが、現場の職員の方々の期待にどれだけ応えられたか、あまり自信はないところですが、自分なりの意見を発言してきました。</p> <p>また、社会教育委員の会を通じ、自分自身も学ぶところが多かったと思います。私自身が、定年後の生涯学習を实践する真っ只中にもおります。今後更に生涯を通じ学習することのすばらしさが広まり、特に老後の方々においては、生きがいある人生を送っていかれたら良いと思います。教育委員会におかれましては、現場の声をできるだけ聞いていただき、どんな思いを持って仕事をしているのか、意見を聞く機会を持っていただけたらありがたいなと思います。ありがとうございました。</p>
C委員	<p>私自身いろいろな所で活動をさせていただいていますが、それらの活動が繋がったような感じがします。また、社会教育に携わらせていただいたことによって、公民館に足運ぶことが多くなったということもあります。地域の中での役職を持っているので、公民館にもよく足を運ばせていただいていた時もありましたが、Gさんがこんなにご苦労されていたんだなということ、この場でお話を聞くことによって、知ることができました。</p> <p>今年度は、先ほどおっしゃったように全国大会に参加させていただきました。私はその前年の全国大会も参加させていただきましたが、地域によって全国大会の雰囲気も違い、兵庫県はなんて素晴らしいんだと感動させていただいた全国大会でした。先ほどおっしゃったように、学びによって生きているということ、ここで改めて学ばせていただきました。最後に書いてありますが、地域に繋げる教育について、地域に戻り進めていきたいと感じる2年間でした。ありがとうございました。</p>
A委員	<p>2年間ありがとうございました。学校教育しか知らなかった自分が、社会教育を考える場に接し、驚きや感動など、すごいものをいっぱい与えていただいた機会でした。ただ、2年間社会教育委員を経験し、皆さんが持っている経験を私は持ってないと気づかされた機会でもありました。学校教育については自分の中にも、基になるようなものがありますが、社会教育の範疇においては自分の中に寄って立っているものが無いわけです。この10年間、退職してから何もしてないということに気づかされました。そして、川西市の教育のお手伝いを少しさせていただいた程度でしか関わりがないことに反省しました。70才で今後の自分を考えた時に、もうちょっと社会というものに立つ自分というものをつくりたいなと思っています。ただ、それを川西市でやるのか宝塚市でやるのかはまだ決めきれていません。川西市の方にどうしても頭が行きがちで</p>

審 議 経 過

NO. 17

	<p>すが、終の住家が宝塚市である以上、宝塚をほっておくわけにはいかないわけで、宝塚市でなにか寄って立つものを見つけなければいけないという思いもあり、この2、3ヵ月非常に揺れています。何かヒントがあったら教えていただいたらありがたいです。ただ、全国大会含め本当に充実した2年間で、改めて新しい世界を発見させていただきました。本当にありがとうございました。</p>
議長	<p>そうしましたら、この審議報告につきましては議長・副議長へ一任いただき、事務局と調整のうえ年度内に清書したものを作成し、教育委員会へ提出するという形をとりたいと思います。最後に、5 その他について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(社会教育関係団体への補助金について説明)</p>
議長	<p>それでは、これをもちまして、令和元年度 第6回川西市社会教育委員の会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>